

ONE TEAM BUKKEN TIMES



品質管理 主任
ほうじ たかゆき
放示 貴之

2013年に株式会社物研に中途入社し、今年で入社7年目になる放示貴之。品質管理の仕事は入社時から担当し、パート従業員のシフト管理や業務の進捗管理も請け負っている。今回は入社のかきつけや成果、今後の目標などについてインタビューした。

人を大切にする会社で

物研に入社する前は大手物流会社で15年ほど働いていた。業種は同じ物流でも、前職では他者とやりとりしながら業務を進めることはほとんどなかったという。そうした点でも今の仕事は、これまでに経験のないものだ。

入社して驚いたのは、正社員もパート従業員も、立場に関係なく全員が顔をしっかりと覚え、名前で呼び合っていることだった。言うまでもなく、「これはあいつらに任せとけばいい」という、責任を押し付

け合うような考え方もない。最低限の礼儀を保ちつつ、皆がフランクにお互いのことを受け入れながら接していた。放示が入社した時期は人手不足だったこともあり、「待ってました！」と言わんばかりに歓迎してくれたという。

物研で働いてみて実感したのは、コミュニケーションを取りながら仕事をすることの大変さだ。前職と違ってパート従業員とも密に関わる仕事が多く、はじめのうちは苦戦することも多々あった。

職場を心機一転させた取り組み

入社当初、最も力を注いだのは職場の整理整頓だ。外部から来る人の目に付きやすい場所も、かなり散らかっていたので、見栄えを良くし、業務の効率化を図るためにも、放示は片付けに尽力した。「煩雑な職場をなんとかしたい」という気持ちは、従業員全員がずっと抱いていたに違いない。しか

し、皆が各自の業務に追われてそれどころではない様子。ならば、入社したばかりの自分が役に立とうという思いで整理整頓に手をつけ始めた。

いざ片付け始めてみると、意外と皆が協力的だった。一人で始めてはみたものの、毎回、その場に居合わせる人が何かしら手伝ってくれる。上司も片付けに使えるアイデアを色々と提案してくれて、職場のあたたかさを感じることができた。

整理整頓に費やした時間は半年ほ



ど。皆で協力して進めた分、一段落ついたときには達成感も大きかった。

周囲のフォローに救われた

前職では、過酷な労働が続く環境に身を置いていた。毎日、「いつになったら帰れるんだろう」と、半分諦めた気持ちで仕事をこなす状況。そのような中で、とうとう体調を崩してしまい、家族から仕事を続けることを止められて退職に至った。長年働いていた会社を辞めることに惜しい気持ちはあったが、生活していくには体が資本。考えを切り替え、転職を決意した。物研は転職活動を始めて最初に採用試験を受けた会社。なにかの縁があったのだろう。かなり働きやすい環境に身を置けていることには感謝しかない。

そんな居心地のよいこの会社だが、大変な経験をしたことも。2年ほど前の年末、二人三脚で仕事を進めていた若い社員が突然退職することになってしまったのだ。繁忙期の最中、二人分

の仕事を一人でこなさなければならぬ状況に、当時はかなり大変な思いをした。しかし、そのときもやはり、周囲の皆のフォローで乗り切ることができた。

ポジティブ、冷静、客観的に

放示が仕事をする上で大切にしているのは、悪い方向に考えないこと、常に落ち着いて考え行動すること、物事を客観的に見ること。社長からは「熱さが足りない。客観的過ぎるのでは？」などと指摘されたこともあるが、自分にとっては、これらがミスに繋がらないための最善の方法だと考えている。それゆえ、今後もこのスタイルは貫いていくつもりだ。

若い後輩たちのためにも、将来に願うのは会社の安泰。今後も残っていく会社の条件は、8割が「運」だという放示だが、良い人材が集まり、育つことは、会社が続いていくための重要な要素といえる。そのためにも「後輩

の指導には尽力していきたいし、後輩たちにも、将来はしっかりと若手の指導をしていってほしい」と今後の展望を語った。

周囲と連携をとりながら仕事を進めることに、ときには苦戦しながらも、日々着々と進む放示。これからの更なる活躍に期待したい。



ありがとうを 伝えよう

「ありがとう」は魔法の言葉。いつもお世話になっているあの先輩に、いつも仕事を一緒に頑張っているあの人に、声に出して感謝を伝えてみませんか。前回の企画で好評だったこの企画、今号では特別版として、いただいたすべての「ありがとう」をお届けいたします！日頃の「ありがとう」は、積極的に声に出して伝えていきましょう！

本社営業
ひらまつ かよこ
平松 香代子さん



To 古藤 道子さん、原 はるみさん

古藤さん、お客様のレビューを見て、気にしてくれてありがとう。原さん、そのことを朝礼で発表してくれてありがとう。うちのスタッフさんはみんな自慢です！

To 岡本 絢野さん

現場での仕事の仕方・仕事の楽しさを教えていただきありがとうございます。また飲みに行きましょう~!

現場パート 和泉

たけだ
竹田 ひろみさん



本社
いけがわ ゆうま
池側 悠磨さん



To 大津 俊夫さん

ファインケミコスさんや大楠屋さんの作業で無理をたくさん言いましたが、しっかり作業をこなしてくれてありがとうございます。

To 私と関わった全ての方

入社してから、自己嫌悪も多忙な日々も数々の失敗も、全てが私の糧になっています。出会ってくれた皆様、ありがとうございます！

本社 パート
はやし さゆり
林 小百合さん



田園 本社
いとう せいき
伊藤 誠紀さん

To 大津 俊夫さん

いつも仕事に真摯に向き合ってくれてありがとうございます。

本社
ゆら りえ
由良 理絵さん

To 池側 悠磨さん
後藤 さん
白木原 さん
小猿 さん

パートリーダーとしての重責を抱えながら愚痴も言わず頑張る姿、とても尊敬しています。あまり無理しすぎず、溜め込みすぎないようにして欲しいと思います。いつもありがとうございます。



To 本社の皆さん

皆さん一人ひとり本当に思いやりが感じられ、助けていただくことが多くあります。私が気づかなかったことを気づかせてもらったり、明るい挨拶や優しい言葉を掛けていただいたり。大変なこともあります。前向きに楽しく働かせていただき感謝しています。ありがとうの一言では言い表せないほどにありがとうございます。リリーちゃんとスカイちゃんにも癒されました。アイドル的存在なので、また会わせてもらえると嬉しいです。癒しをありがとうございました。

本社
うたに みさこ
歌谷 美佐子さん



To 皆さん

皆さんのアドバイスやフォロー、いつも感謝しています。

本社
すずき あやこ
鈴木 綾子さん



本社
はらだ ゆきこ
原田 由希子さん



To 宮崎さん

いつも細かいことまで気にしてください、ときには手伝ってくださいありがとうございます！

本社
つるまき はなこ
鶴巻 華子さん



To お客様

仕事をしてくれていることに、感謝しています。

本社
しらはら ちよ
白木原 千世さん



To 由良さん

入社当初、作業に時間がかかりもたついていた私を手伝ってくれたり、わかりやすく仕事を教えてくれたり、温かい言葉をかけてくれたり……。本当にありがとうございました。1番辛い時を乗り越えられたのは由良さんのおかげです。これからもよろしくお願いします。

To 岡本 絢野さん

いつも楽しくいきいきと働ける職場を作って下さり、感謝しています。とてもハードな毎日ですが、これからも体に気をつけてください。

物研 和泉センター
おくの ちえ
奥野 智恵さん



CELEBRATE YOUR
HAPPY BIRTHDAY

July

7月生まれの皆さん、お誕生日おめでとうございます！素敵な1年となりますように。

和泉 パート 白山 明香さん	和泉 パート 佐野 めぐみさん	和泉 社員 櫻井 寛樹さん
本社 事務 野瀬 恵里さん	本社 事務 鈴木 綾子さん	和泉 パート 田中 裕子さん
和泉 パート 豎山 洋美さん	和泉 社員 眞鍋 健太さん	和泉 パート 丸山 まり子さん

今月の bukken spirits

bukken spirits とは働く仲間としての共通の価値観です。物研で働く皆さんがこの言葉に共感していただくことを切に願っています。今月はこの3つをご紹介します。

ご縁の大切さを知る
【人はご縁によって生かされている】

人は多くの人に支えられている。多くの人の出逢いによって今の自分がある。そのことは事実である。そのご縁を活かすことに生きる意味がある。決して自分から縁を切つてはいけない。なにがあっても。

巻込む力を持つ
【力を借りられる実力をつけよ】

リーダーの資質に人の力を引き出す能力を問われる。リーダーが手を上げた時にどれだけの人が集まるかが自身の実力である。人は使うのではなく、育てるものである。人の能力を最大限活用する能力こそがリーダーとしての資質となる。一人では何もできない、仲間の力を借りるという謙虚さも大切となる。

同じではなく違うことを尊重する
【同調ではなく異質から学ぶ】

人は同じ意見や考え方を持っている人を好む、何故ならやり易いからである。しかし、ある意味それは同調と言える。そこからは変化は生まれない。違うものがぶつかり合ってこそ磨かれる。異質なものが磨き合うことでお互いが輝き合うのである。決してそこから逃げることはならない。